

取扱説明書

このたびは、サカキ式電動送風機 105 型をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
その後も大切に保存し、必要なときはお読みください。

業務用

本製品は業務用ですので、労働安全衛生及び呼吸用保護具の十分な知識を有する方が使用するか、または十分な知識を有する方の指導の下で使用してください。

電動送風機形ホースマスク用

サカキ式 電動送風機 105 型

JIS T 8153 送気マスク準拠

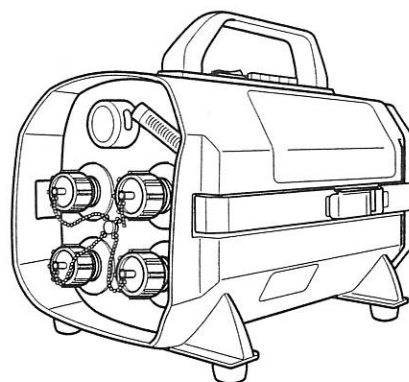
※ただし、電源コードは JIS C 3306 ビニルコード準拠（非防爆型）

はじめに

本製品はサカキ式電動送風機形ホースマスク用の送風機です。ホースを通じて作業環境外の清浄な空気をマスク装着者に供給します。

特長

- 小型で持ち運びに便利なハンディタイプ。
- AC100V の電源で使用可能。
- 電子ノイズ防止構造で、周辺機器の誤作動を防止。
- 送風量は 5 段階で調節可能。
- 最大 4 人まで接続可能。



安全に正しくご使用いただくために

この取扱説明書は、安全上重要な内容に **△ 危険**、**△ 警告**、**△ 注意** を記載しています。以下が定義ですので、内容をよく理解したうえ、本文をお読みください。

- △ 危険** ... 記述内容に従った操作や処理を守らないと 生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性が高い ことを意味します。
- △ 警告** ... 記述内容に従った操作や処理を守らないと 生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性がある ことを意味します。
- △ 注意** ... 記述内容に従った操作や処理を守らないと 身体に軽微な被害または物損事故を起こすおそれがある ことを意味します。

△ 危険

本製品の性能を満たして安全にご使用いただくために、以下の事項を厳守してください。

- 電動送風機は有毒ガス・蒸気、及び有害な粉じんが存在している環境や酸素欠乏環境（酸素濃度 18% 未満）には設置しないでください。
- 火花の発生により爆発する可能性のあるガス・蒸気、及び粉じん環境では使用しないでください。
- 本製品は電動送風機形ホースマスク（サカキ式 SHV-105・SD-105）、スパイラルホース（10～30m）専用の電動送風機です。他のマスクやホースへの接続は絶対にしないでください。
※ ホースマスクは、酸素濃度 14% 未満の環境では使用できません。
※ 有害物質の短時間ばく露で生命・健康に危険のある場合は、半面形の SD-105 型は使用できません。
- ご使用の前には「使用前点検」、ご使用の後には「保守管理について」を必ず行ってください。
- 作業中は電動送風機や作業者の監視者を専任し別途に空気呼吸器を備え、万一に備えて救出できる準備を行ってください。

目次

はじめに.....	1 ページ (表紙)
特長.....	1 ページ (表紙)
使用環境について.....	2 ページ
構造および各部の名称.....	3 ページ
ご使用になる前に.....	3 ページ
使用前点検.....	4 ページ
使用方法.....	4 ~ 5 ページ
1. 電動送風機とホースの接続のしかた.....	4 ページ
2. 電動送風機の稼働のしかた.....	5 ページ
3. 使用上の注意事項.....	5 ページ
4. モーターの放熱のしかた.....	5 ページ
保守管理について.....	6 ~ 7 ページ
1. お手入れのしかた.....	6 ページ
2. 部品の交換方法.....	6 ~ 7 ページ
保管方法.....	8 ページ (裏表紙)
使用時間記録表.....	8 ページ (裏表紙)

使用環境について

- **設置場所**
電動送風機は、酸素濃度 18% 以上で、有毒ガス・蒸気、有害な粉じん、悪臭、ほこりなどが発生するおそれのない、常に呼吸に適した清浄な空気を得られる場所に設置してください。
(たとえば、電動送風機の近くで自動車を動かすと、その排気ガスを送気してしまうことがあります。) 振動が少なく、地盤の安定した水平な場所に設置してください。
- 本製品に接続するマスクの種類 (面体の種類) によって使用可能な作業環境が異なります。
マスク本体の取扱説明書に記載の内容をご確認ください。

⚠ 危険

- 酸素濃度が 14% 未満の作業環境ではホースマスクは使用できません。
- 電動送風機は有毒ガス・蒸気、及び有害な粉じんが存在している環境や酸素欠乏環境 (酸素濃度が 18% 未満) には設置しないでください。有毒ガス・蒸気、及び有害な粉じんや酸素欠乏環境が送気されると、中毒または死亡することがあります。
- 火災または爆発のおそれがある場所で使用しないでください。
電動送風機は防爆構造ではありません。防爆構造機器使用義務場所では使用できません。
火災、爆発の着火源となるおそれがあります。
- ビニル袋など吸気口を塞いでしまうおそれのあるものを、近くに放置しないでください。

⚠ 警告

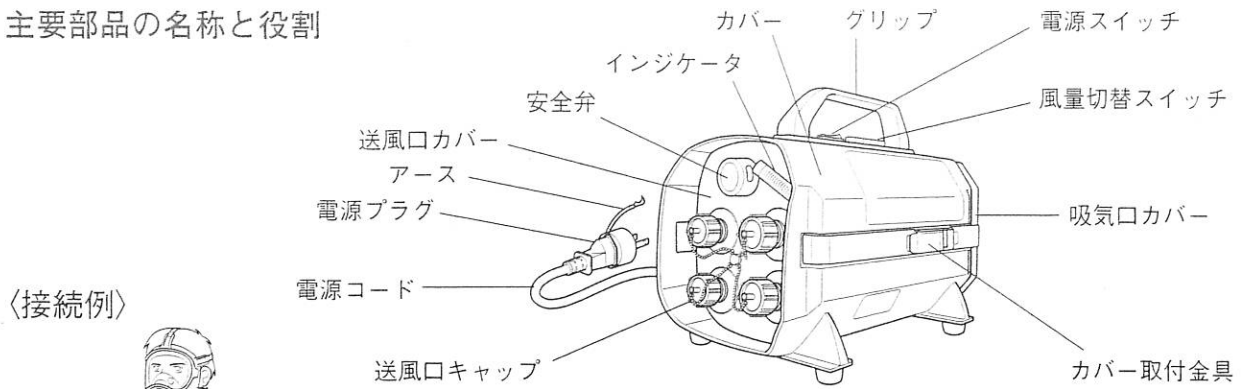
- 高所には設置しないでください。
電動送風機が落下した場合、作業者の落下事故や落下部へ損傷を与えるおそれがあります。
- 高温・多湿・不安定な場所・磁気の発生する場所・振動の激しい場所には設置しないでください。
事故、故障の原因となります。
- 水のかかるおそれがある場所には設置しないでください。
ショート、感電のおそれがあります。また、事故、故障の原因となります。

⚠ 注意

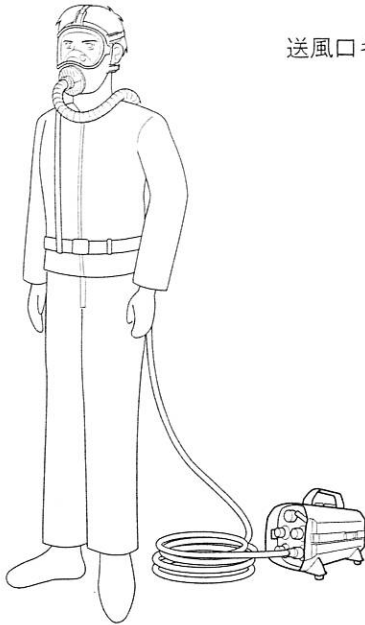
- 電動送風機を持ち運ぶときは、必ず安全靴を履き、グリップをしっかりと握って行ってください。
- 内部のメカニズムは精密に調整されていますので、落下などのショックを与えないでください。

構造および各部の名称

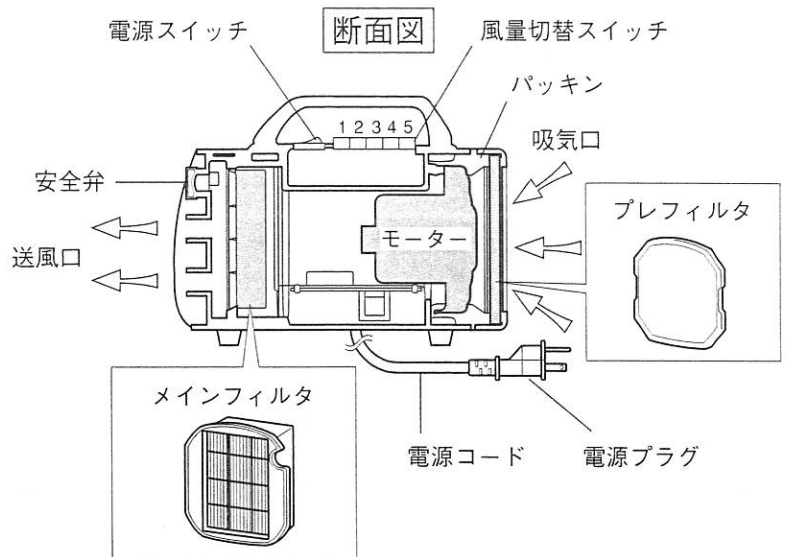
主要部品の名称と役割



〈接続例〉



※マスク、ホースは別売です



- プレフィルタ …………… 空気中に含まれるゴミを除去します。
- メインフィルタ …………… 粉じん捕集効率 80%以上のフィルタで、偶発的な粉じん発生に対応します。
- インジケータ …………… メインフィルタ交換の目安を表示します。
- 安全弁…………… スパイラルホース(別売)が万一閉塞した場合でも、エアーが抜けてモーターの加熱を防止できます。
- 風量切替スイッチ …………… 使用する人数やホースの長さに応じて風量を 5 段階に切替えて、必要な流量を調節できます。

定格性能

電源	AC	周波数	50/60Hz
電圧	100V	送気口送風量*	210L/min 以上
電流	5.2A	重量	約 6.9kg
電力	580W		

※各送気口にそれぞれ10mホース(面体なし)を接続し測定。



注意

●本製品は日本国内専用です。電源電圧・周波数の異なる外国では使用できません。

ご使用になる前に

必ず<使用前点検(4ページ)><使用方法(4~5ページ)>の順番通りに行ってください。

使用前点検

安全のため、使用前点検は必ず行ってください。



●使用前に必ず下表の点検項目を点検し、異常があった場合はそのまま使用せずに異常の処置を行ってください。

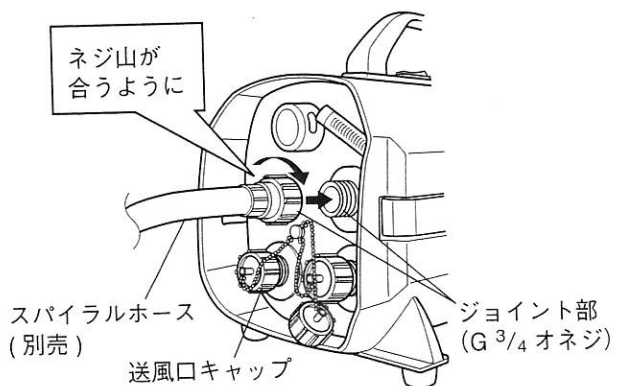
点検項目	点検方法	判定基準	異常時の処置
カバー、吸気口カバー、送風口カバー、カバー取付金具	目視。 しっかりと取り付けられている事を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ●変形、破損などがないこと。 ●著しくさびていないこと。 ●カバー取付金具が容易にはずれないこと。 	修理を依頼するか送風機を交換してください。
モーター（作動状態）	スイッチを入れ作動させる。	<ul style="list-style-type: none"> ●作動すること。 ●異常音、異臭、急激な発熱がないこと。 ●十分な送風がされること。 	修理を依頼するか送風機を交換してください。
電源コード、電源プラグ	目視。	●亀裂、ひび割れ、変形がないこと。	修理を依頼するか送風機を交換してください。
プレフィルタ	目視。	●著しい汚れ、変形、破れがないこと。	該当するフィルタを新品と交換してください。
メインフィルタ	目視・インジケータによる確認。	<ul style="list-style-type: none"> ●著しい汚れ、変形、破れがないこと。 ●インジケータが交換の時期を示していないこと。(6ページ参照) 	
結合状態	目視。	●全ての部品が欠損なくセットされていること。	欠損等がある場合は、各点検項目に従って確認し、処置を行う。

- ◎点検は粉じんや有害物質などが無い、安全な場所で行ってください。
- ◎修理及び部品の交換については、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業所までお問い合わせください。
- ◎破損の程度によっては修理が不可能な場合がありますのでご了承ください。

使用方法 —必ず電動送風機形ホースマスク（サカキ式 SHV-105/SD-105）の取扱説明書もお読みください。—

1. 電動送風機とホースの接続のしかた

- ① 送風口キャップをはずし、スパイラルホースを接続します。
- ② ネジ山がずれないようにしっかりと合わせ、ジョイント部が動かないよう確実に締め込んでください。
- ③ ホースの反対側は、ホースマスクの风量調節部のジョイントに接続してください。なお、使用しない送風口は閉めておきます。



使用方法

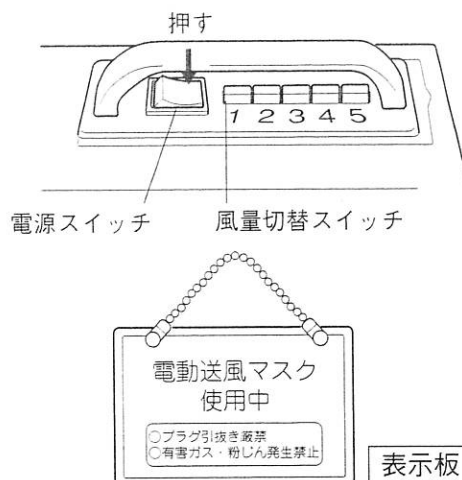
2. 電動送風機の稼働のしかた

- ① 電動送風機→スパイラルホース→ホースマスクの順で接続が終わりましたら、電動送風機の電源プラグを電源コンセントに差し込み、電源スイッチを入れ、送風します。

※必ずアースを接続してください。

※『電動送風マスク使用中』の表示板（付属）を電源コンセントの近くに設置し、誤って電源プラグを抜かれないようにしてください。

- ② 電動送風機の風量切替スイッチを使用人数、ホースの長さに合わせ調節してください。



⚠ 危険

- 接続できるホース長は最長で30mまでです。30mを超えて接続しないでください。十分な空气の供給量が得られなかったり、万一送風が停止した場合に自己の肺力で吸引できないおそれがあります。

3. 使用上の注意事項

- 使用の都度、必ず<使用前点検(4ページ)>の項目に従い、点検をして異常がないことを確認してください。

4. モーターの放熱のしかた

長時間作業ではモーターが熱を帯びるため、1～2時間おきに運転を止め、冷えてから運転を再開するか、予備の電動送風機を準備して交互に使用してください。

※電動送風機は、安全弁によりモーター放熱に必要な空気を自動的に排出する構造になっていますが、上記の処置でモーターへの負担を減らすことができます。

⚠ 危険

- 電源コードを抜くときは、必ず乾いた手で電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ったり、濡れた手で触るとショートや感電のおそれがあります。

⚠ 警告

- 作業中、次のことがあった場合、直ちに安全区域に退避し、各部のチェックを行ってください。
 - ・送風停止、または送風量の減少
 - ・ガス臭または油臭、その他異臭
 - ・送風される空气の異常な温度上昇
 - ・頭痛、めまいなどの体調の変化
 - ・その他、異常と感じられること

⚠ 注意

- 電源コードの上に重いものをのせないでください。電源コードにキズがつき、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグの抜き差しによる運転・停止をしないでください。感電や加熱、部品等の故障の原因になります。
- 電源プラグがしっかり差し込まれているか確認してください。電源プラグに緩みがあると漏電や加熱の原因になります。
- 内部のモーター・コード類に触れないでください。事故や故障の原因となります。

保守管理について

1. お手入れのしかた

本体表面を乾燥した布、または軽く水で湿らせた布で拭いてください。水をかけたりすることは故障の原因となりますのでやめてください。

⚠ 危険

- 製品の改造や交換可能箇所以外の部品の分解は、絶対にしないでください。事故や故障の原因となります。

⚠ 警告

- 本体に水をかけないでください。感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

- お手入れの際は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 部品の交換方法

少なくとも月に一度は電動送風機の点検を行い、異常があった場合はすみやかに修理もしくは部品を交換してください。

[フィルタの交換]

● 交換の時期

以下のいずれかの状態になったときは、新しいものと交換してください。

プレフィルタ

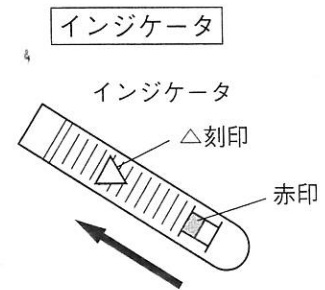
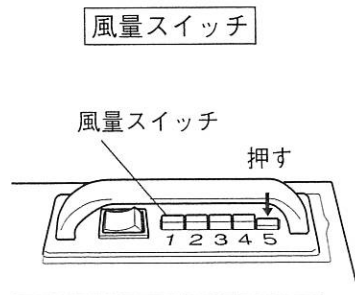
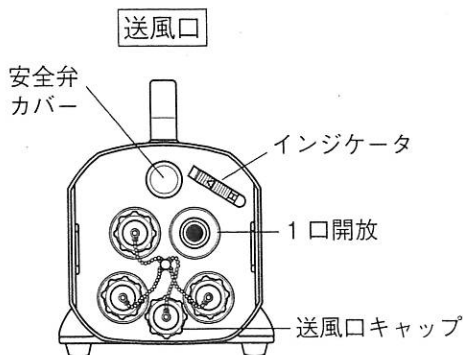
- ◎ 目視により著しい汚れや変形が確認されたとき。

メインフィルタ

- ◎ 目視により著しい汚れや変形が確認されたとき。
- ◎ インジケータにより目詰まりが確認されたとき。

《インジケータ確認方法》

- ① インジケータの下の送風口キャップをはずし、1口開放します。
- ② 風量切替スイッチの5を押して作動させます。
- ③ インジケータ内の赤印が△の刻印にかかるようでしたら、フィルタが目詰まりしています。直ちにフィルタを交換してください。



● 交換用部品について

以下の部品は、交換用部品として販売しております。(受注生産品) お買い上げの販売店でお求めください。

- ・ プレフィルタ (吸気口側) …… 電動送風機用 105 型プレフィルター (1 枚)
- ・ メインフィルタ (送風口側) …… 電動送風機用 105 型 HEPA フィルター (1 個)

保守管理について

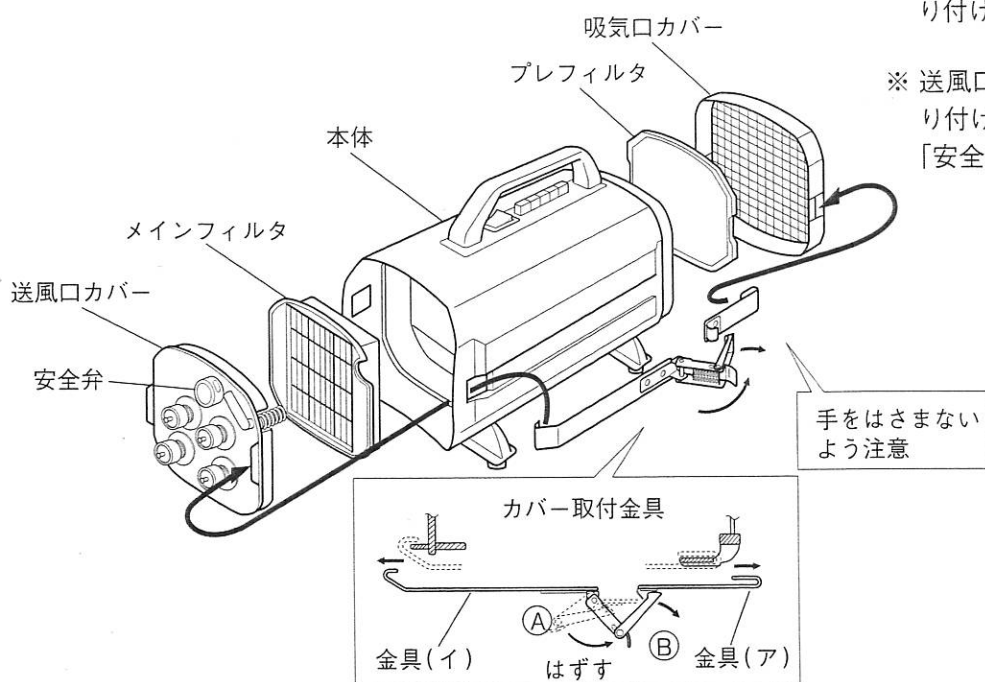
●交換の手順

フィルタの交換は①～⑥の手順に従い、電動送風機の両側にあるカバー取付金具をはずして行ってください。

⚠注意

- フィルタの交換の際は、カバー取付金具に手などをはさまないように注意してください。
- 必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

- ① 金具(イ)を①、②の順番におこしてははずします。(送風口カバーを押さえながらはずします。)金具(ア)もはずします。
- ② 両側のカバー取付金具をはずした後、吸気口カバー、送風口カバーをそれぞれはずします。
- ③ メインフィルタは本体から引き抜きます。プレフィルタは吸気口カバーからはずします。
- ④ 新しいプレフィルタを取り付けた吸気口カバーを本体にはめ込みます。
- ⑤ 新しいメインフィルタを本体に取り付け、送風口カバーを押し込みます。
- ⑥ 金具(イ)をかけた後、金具(ア)を取り付け、②①の順でたおします。もう一方の金具も同様に取り付けます。



[モーターの交換／本体の交換]

電動送風機のモーターには通算使用時間に限度があります。モーターの通算使用時間「約 800 時間」に達した場合は、新しいモーターの交換を弊社にご依頼ください。また、電動送風機本体の使用限度時間は「約 1,600 時間」ですので、この時間に達した場合は、新しい電動送風機と交換してください。

※通算使用時間は記録表などで管理してください。(裏面の使用時間記録表参照)

モーターの交換	通算使用時間 約 800 時間	弊社にてモーターを交換
本体の交換	通算使用時間 約 1,600 時間	販売店にて新しい電動送風機を購入

⚠注意

通算使用時間は目安であり、送風機が古い場合や、モーターが熱をもったままの長時間運転、著しいフィルタの目詰まりがある等の異常のある状態で使用を続けた場合は、モーターの通算使用時間 800 時間、本体の通算使用時間 1,600 時間に達する前に交換しなければならない場合もあります。

